

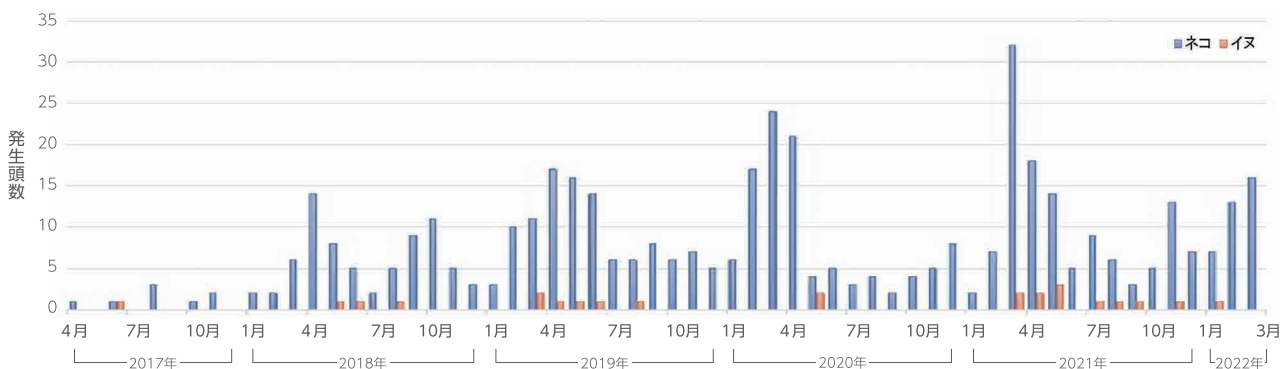
秋冬のノミ・マダニ感染リスク

マダニ

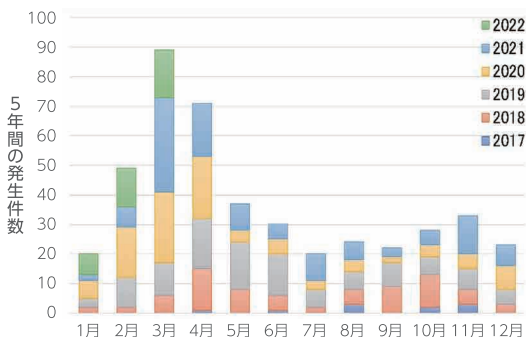
日本には40種類以上のマダニがありますが、日本全国で見られるマダニにはフタトゲチマダニ、キチマダニなどがあります。フタトゲチマダニは、未吸血の状態越冬し、初夏から夏には成虫数が、初秋には幼虫数がピークを迎えます。キチマダニは夏と晩秋は吸血活動が最も盛んで、ほぼ通年で活発に活動しています。

マダニが媒介する感染症は数多くありますが、特にSFTS(重症熱性血小板減少症候群)は、人獣共通感染症としても昨今問題になっています。犬や猫のSFTS発生頭数の推移をみると、春と秋だけでなく冬にも発生がみられるため、地域や気候によっては**秋冬もマダニ対策が必要です**。

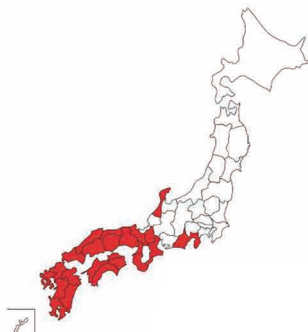
SFTSの月別発生頭数の推移(ネコ・イヌ)



過去5年間の月毎のSFTS発生件数(ネコ・イヌ)



国内でSFTS発症ネコ・イヌが認められた地域



	ネコ	イヌ		ネコ	イヌ
石川県	0	1	徳島県	13	1
静岡県	7	2	香川県	4	0
三重県	9	0	愛媛県	16	0
滋賀県	1	1	高知県	14	0
京都府	12	1	福岡県	14	1
大阪府	1	0	佐賀県	20	1
兵庫県	2	2	長崎県	93	1
和歌山県	8	1	熊本県	14	0
岡山県	26	0	大分県	11	5
広島県	28	0	宮崎県	47	2
鳥取県	0	1	鹿児島県	83	1
島根県	3	0	不明	1	0
山口県	22	3	総数	449	24

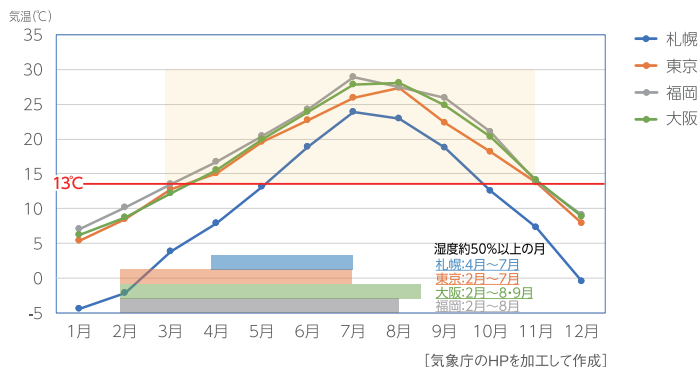
※上記3つのデータはAMED研究「愛玩動物由来人獣共通感染症に対する検査及び情報共有体制の構築」より引用(2022年3月31日現在)

ノミ

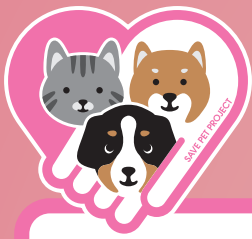
ノミは、【気温13~32℃・湿度50~92%】であれば発育可能であるため、各都市の平均気温を照らし合わせると、暖かい地域では、3月~11月まで繁殖可能です。また、温暖化や異常気象により、例年よりも平均気温が上昇している地域もあります。

ノミの活動時期は春にはじまり、夏がピークになりますが、温暖化により冬の屋外でも暖をとれる場所(物置やエアコン室外機付近等)ではこの条件を満たすことがあります。室内環境においては一年中環境条件が安定して発育可能なため、地域や住環境によっては**秋冬もノミ対策が必要です**。

2021年 日平均気温の月平均値(℃) / 月平均湿度50%以上(下部)



犬猫の飼育環境 / 寄生虫の生態 / 媒介性疾患の発生状況 を考慮し、適切な対策期間を決めましょう。



オールインワン通信

2022
VOL. 2

保護犬・保護猫を迎えたいと思っている方へ

● どこで探せばいいの？

大きくは、3つの方法があります。

- 1 地域の動物愛護センターを訪問する
- 2 保護団体の譲渡会に参加する
- 3 マッチングサイトで探す

● 環境省 収容動物情報検索サイト

<https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/shuyo/>

● 環境省 譲渡会等のお知らせ

<https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/shuyo/info.html>



● 引き取るために必要なことや準備すべきは？

各団体によって異なりますが、特に民間保護団体では、年齢制限(60歳以下まで)、単身者NG、多頭飼育NG、年収や住居の確認、後見人の設定など、譲渡条件がとてつもないところも多いです。講習会への参加や、引き取る前にトライアル期間を設定しているところもあります。

● 各団体の取り組みをよく確認することはとても大切です

譲渡の方法ひとつとっても団体様によってさまざまです。取り組みや対応をよく確認し、ご自身が信頼できると思える団体様を見つけましょう。

- ◆ 譲渡について
リアル譲渡会／オンライン譲渡会／面談の有無／トライアル期間の有無 など
- ◆ 獣医療について
メディカルチェックの有無／医療サポートの有無／避妊・去勢手術の有無 など
- ◆ 保護犬・保護猫の預かり状況について
シェルターで預かっている／個人で預かっている など
- ◆ 引き取り時の移送方法について
直接引き取りに行く／トライアル時に団体様が移送する など



画像提供: 特定非営利活動法人
日本動物生命尊重の会アリス

● 引き取りを決めるまでも慎重に検討しましょう

一度飼育放棄された犬猫たちです。保護犬・保護猫の活動に関わる全ての方が、次の飼い主様のもとでは愛情いっぱい育ててもらい、終生幸せに暮らしてほしいと願っています。犬猫たちの個性や家族との相性もしっかり見て、最期まで愛情をもって世話をできるかよく検討しましょう。



画像提供: 特定非営利活動法人
猫と人を繋ぐツキネ北海道

ひとりひとりの小さなアクションで 救える命がある

愛するペットのノミ・マダニ対策が、保護犬・保護猫のいのちを救うことにつながります。

保護犬・保護猫の医療費サポートおよびマイクロチップリーダーの寄贈



SAVE PET PROJECT

2010年より“犬・猫用駆虫薬”および
“デンタルケア製品”の
売上の一部を寄付し、
犬猫の幸せのための活動に
取り組んでいます。